

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。特集「実世界に広がる装着型センサを用いた行動センシングとその応用」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■最近の会誌はボリュームが多い傾向にあるが、今月号は「特集」の各記事が4ページ前後にまとまっていたこともあって、コンパクトで読みやすかった。物足りないと思う人もいるかもしれないが、非専門家にはちょうどいいと感じた。(匿名希望)

■爆発的に普及するスマートフォンに搭載されている技術が分かりやすく解説されており、非常に興味を持って読むことができました。普段何気なく使っている身近な機器に実に高度な技術が埋め込まれていることを知り感心しました。(匿名希望)

■行動センシングの各試みについて:いずれもプライバシーについて触れてはおられますが、何か技術者の身勝手さのようなものを感じました。悪用・誤用のされ方、人の精神活動や社会に与える悪影響についても、懸念のレベルでよいので一節程度使って述べていただきたいと思います。(千葉一博)

■タイムリーで興味深い内容であり、現時点でのアプローチがよく分かる応用拡大と新産業の創出の萌芽を感じる。一方で、行き過ぎた監視にならないよう、個人情報としての節度を踏まえた配慮が開発サイドにも求められると思う。(匿名希望)

■とても興味深かった。また、データベースなど貴重な多くの情報を無償で広く公開する姿勢にも好感を抱きました。(青田佳士)

■生活行動や車の運転におけるアナログセンシングの研究には、大変興味を持っていました。これらが各産業に、どのように結びつけることができるか、考えさせられます。(匿名希望)

「2. スマートフォンを用いた歩行者デッドレコニング」

■Dead Reckoning がピンとこなかったの、読み進めなかった。(匿名希望)

「4. スマートフォンを用いた生活行動認識」

■現在、自分が研究している内容にとっても近く、ご本人の論文も読んだことがあるため興味を惹かれた。(匿名希望)

■「スマートフォンを利用した行動認識」という研究がどこまで進んでいて、どんな問題があるかが分かりました。スマートフォンは身近な機器なので、このテーマに特に興味を持っています。(匿名希望)

「7. ウェアラブルセンシングの実世界応用」

■複数のセンサを身に付ける未来が想像できない。(匿名希望)

「コラム2:大規模行動センシングのための情報圧縮技術」

■この記事には非常に興味があったのですが、やや難しく感じました。もう少し平易に、たとえば、ノルム最小化はどのようなものか、その意味や意義をご説明いただけるともっと良かったです。(匿名希望)

解説「最先端医療を実現する生体内外センサネットワーク技術」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■面白かった。同種の記事をもっと増やしてほしい。(匿名希望)

解説「日本におけるスマートグリッドの動向」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました

■現在、話題になっている事項のダイジェストとして、適切にまとまっていて、全体像を俯瞰するのに良かった。この記事は、産業界の動向を中心に書かれていましたが、さらにアカデミックな視点から見て、どのような技術が利用され、問題点はどこで、どのような研究がなされると、ブレークスルーが起こるのかについてまで記述されていると、さらに良いと思いました。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：コラム：思考の道しるべ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■最後にあった「思考の軸や枠組みの変更についての事項も重要ではないか」に強く同意できた。大学で学生を教育してうまくいかないのは、このような点に対する理解が不十分なためだと思ったからである。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：高度IT人材育成に関する韓国視察報告」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■韓国でサムスンが大学を作ったことは知っていたが、契約学科が広範囲の学科で行われている等、産業が大学に大きく貢献していることが想像できた。韓国もイノベーションによる産業強化を目指し、教育改革を進めていると思うが、机上の空論でなく実行が伴っているので、将来に確実な実りがあるだろうと思わざるを得ない。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■特集と解説2本、いずれも個人的には興味があり面白く読めた。記事の難易度的にも適切だったと思う。どれも生活に身近だったり、重要な変革をもたらし得るのでありながら一般の理解はいまひとつであると思われ、会誌で取り上げる意義は小さくないだろう。(匿名希望)

「ほっとタイム：編集委員退任にあたって」

■編集委員の苦勞が分かり、自分の会誌の読み方を反省させられました。(匿名希望)

■記事中にあったように、私のような専門外の人間にも、読んで知的好奇心を刺激されるような記事が多いのがよいと思う。本当の専門知識を持っていなくても、技術がどのくらいまで進んでいるか、問題点は何か、などが分かる。自分の専門知識からの類推もある程度は可能である。今後もこのような方針を続けてほしい。

(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■タブレット PC の活用に関する最新の市場動向や研究内容を知りたい。(匿名希望)

■「連載」で数値計算を有限桁であるコンピュータで行う場合の諸現象について、平野菅保先生(元日大理工教授 博士)のお話をお願いいたします。(竹澤充子)

■今後取り上げてほしいテーマ：データマイニング、ビッグデータ。(石井一夫)

■ビッグデータや学習を用いた未来予測を取り上げてほしい。(佐伯嘉康)



【本欄担当 掛下哲郎, 高橋ひとみ/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC2013」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-T.html	9月6日(金)		
	論文誌「地域貢献・復興」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-N.html	10月21日(月)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-L.html	11月5日(火)		
	会誌「情報処理」55巻表紙デザイン募集 http://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/design-boshu55.html	11月5日(火)		
	論文誌「新しいリスクに対応するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/14-M.html	11月29日(金)		
8月18日(日)～	情報教育シンポジウム2013(SSS2013) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2013	6月1日(土)	当日可	休暇村岩手網張温泉
8月20日(火)	DAシンポジウム2013 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2013.html	5月24日(金)	7月26日(金)	下呂温泉 水明館
8月21日(水)～	平成25年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月14日(金)		会津大学
8月22日(木)	17th International Software Product Line Conference (SPLC2013) http://www.splc2013.net/			早稲田大学 西早稲田キャンパス
8月22日(木)～	第100回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus100.html	6月24日(月)	当日のみ	東京大学
8月23日(金)	第54回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its54.html	6月26日(水)	当日のみ	電気学会
8月26日(月)～	第188回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim188.html	6月18日(火)	当日のみ	鳥取大学
8月30日(金)	第10回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/12th_webology/index.html	7月1日(月)	定員になり次第	かんぼの宿 有馬
8月31日(土)～	FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/		当日可	鳥取大学 鳥取キャンパス
9月2日(月)	第152回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg152.html	7月1日(月)	当日のみ	穂の国とよはし芸術 劇場プラット(豊橋市)
9月2日(月)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2013 (SES2013) https://sites.google.com/site/sesjp2013/	5月10日(金)	8月30日(金)	東洋大学 白山キャンパス
9月6日(金)	第156回マルチメディア通信と分散処理・ 第89回グループウェアとネットワークサービス・ 第61回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps156gn89eip61.html	7月16日(火)	当日のみ	金沢工業大学 扇が丘キャンパス
9月9日(月)～	第82回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm82.html	7月12日(金)	当日のみ	早稲田大学
9月10日(火)	第67回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第8回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl67cds8.html	7月19日(金)	当日のみ	東芝研究開発センター
9月10日(火)	第125回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is125.html	7月20日(土)	当日のみ	前橋工科大学
9月9日(月)～	第213回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl213.html	8月2日(金)	当日のみ	山梨大学
9月11日(水)	第30回組込みシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb30.html	8月1日(木)	当日のみ	名古屋大学
9月12日(木)～	連続セミナー 2013 第3回「ビッグデータ時代のセキュリティ」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
9月13日(金)	平成25年度電気関係学会四国支部連合大会 http://www.sjciee.org/	7月28日(日)		徳島大学工学部 共通講義棟
9月12日(木)～	平成25年度電気関係学会北陸支部連合大会 http://jhcs2013.ec.t.kanazawa-u.ac.jp/	7月31日(水)		金沢大学 自然科学本館・大講義棟
9月13日(金)	平成25年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www.2iee.or.jp/~tokai/rengo2013/	7月12日(金)		静岡大学 浜松キャンパス
9月24日(火)～	平成25年度(第66回)電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月16日(火)		熊本大学 黒髪南地区
9月25日(水)	2013年度関西支部 支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2013/index.html	6月21日(金)		大阪大学 中之島センター
9月25日(水)	第95回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps95.html	7月26日(金)	当日のみ	熊本県立大学
9月27日(金)	第91回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd91.html	7月29日(月)	当日のみ	印刷博物館 グーテンベルクルーム
9月27日(金)	第23回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot23.html	8月2日(金)	当日のみ	電気通信大学
9月30日(月)～	第141回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc141.html	7月19日(金)	当日のみ	沖縄産業支援センター
10月1日(火)	連続セミナー 2013 第4回「ライフログとビッグデータ」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]大阪大学
10月3日(木)	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2013) http://ec2013.entcomp.org/cfp.html	7月5日(金)	当日可	サンポートホール高松
10月4日(金)～				
10月6日(日)				

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月5日(土)	情報処理北海道シンポジウム2013 http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/shibu/shibu_tayori2013.html	8月26日(月)		室蘭工業大学
10月7日(月)～ 10月8日(火)	第162回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slmd162.html	8月16日(金)	当日のみ	弘前大学 コラボ弘大 八甲田ホール
10月12日(土)～ 10月13日(日)	第121回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce121.html	8月22日(木)	当日のみ	中京大学附属中京高校
10月16日(水)～ 10月18日(金)	組込みシステムシンポジウム (ESS2013) http://www.sigemb.jp/ESS/2013/	6月14日(金)		国立オリンピック 記念青少年センター
10月19日(土)	平成25年度(第64回)電気・情報関連学会中国支部連合大会 http://rentai.ccsv.okayama-u.ac.jp/	8月2日(金)		岡山大学 津島キャンパス
11月8日(金)～ 11月10日(日)	第18回ゲームプログラミングワークショップ2013 (GPW-13) http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2013/			箱根セミナーハウス
11月14日(木)	連続セミナー 2013 第5回「産官学民融合で実現へ！ スマートシティをデザインする」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]立命館大学
11月27日(水)～ 11月28日(木)	第6回Webとデータベースに関するフォーラム (WebDB Forum 2013) http://db-event.jpn.org/Webdbf2013/			京都大学 百周年時計台記念館
12月4日(水)～ 12月5日(木)	第25回コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2013) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/			芝浦工業大学 豊洲キャンパス
12月12日(木)～ 12月13日(金)	インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2013) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iots2013.html	9月13日(金)		広島大学 (東広島キャンパス)
12月12日(木)～ 12月14日(土)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2013」 http://jinmoncom.jp/sympo2013/		当日可	京都大学 百周年時計台記念館
12月16日(月)	連続セミナー 2013 第6回「クラウドソーシングとソーシャルメディア」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2013/index.html		定員になり次第	[東京]化学会館7Fホール [大阪]大阪大学
12月20日(金)～ 12月22日(日)	第101回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus101.html		当日のみ	九州大学
2014年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/jigyuu/happyou/index.html#syorui	2月28日(金)		
1月7日(火)～ 1月8日(水)	2014年ハイパフォーマンスコンピューティングと 計算科学シンポジウム (HPCS2014) http://hpcs.hpcc.jp/			学術総合センター 一橋記念講堂
3月11日(火)～ 3月13日(木)	情報処理学会 第76回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/76/			東京電機大学 東京千住キャンパス
9月3日(水)～ 9月5日(金)	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html			筑波大学 筑波キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 7月20日 情報処理 2012年05月号別刷「《特集》CGMの現在と未来：初音ミク、ニコニコ動画、ピアプロの切り拓いた世界」が星雲賞受賞
- 7月15日 人材募集情報 (Vol.54 No.8)
- 7月15日 会誌「情報処理」55巻表紙デザイン募集
- 7月15日 会誌「情報処理」Webカタログ (Vol.54 No.8)
- 7月08日 論文誌「組込みシステム工学」特集論文募集
- 7月01日 論文誌「新しいリスクに対応するコンピュータセキュリティ技術」特集論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)

賛助会員(企業) 31,500円(〃)

賛助会員以外の企業 52,500円(〃)

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■筑波大学システム情報系

- 募集人員** 准教授 1名(任期:着任日から2015年3月31日まで下記事業経費による任期付き雇用。その後、運営費交付金による「任期なし」とする予定)
- 募集分野** クラウドシステムとeラーニングシステムにかかわる情報工学分野
- 職務** 文部科学省国立大学改革強化推進事業「筑波大学と鹿屋体育大学の体育・スポーツにおける共同専攻の設置」を推進する業務、筑波大学学術情報メディアセンター教育クラウド室においてeラーニング・クラウドシステムを構築・運用する業務、システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻における教育研究、情報学群情報科学類における教育
- 応募資格** 博士の学位を有し、前述の職務を推進する意欲があり、専門分野において研究業績がある方。大学や研究機関のセンタ業務または大型研究プロジェクト等において、募集分野に関連する従事経験があれば望ましい
- 応募締切** 2013年8月30日(必着)
- 照会先** システム情報系 教授 加藤和彦 E-mail: kato@cs.tsukuba.ac.jp
- その他** 詳細はWebページ (<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/koubo/koubo201306.pdf>)を参照ください

■近畿大学工学部情報学科

- 募集人員** 講師または助教 1名
- 専門分野** マルチメディア情報通信に関連する分野
- 応募締切** 2013年9月6日(必着)
- 照会先** 工学部情報学科 学科長 田中一基 E-mail: kazumoto@hiro.kindai.ac.jp Tel(082)434-7000 (ext. 873)
- その他** 詳細はWebページ (<http://www.hiro.kindai.ac.jp/saiyo/teacher-info.html>)を参照ください

■東海大学理学部情報数理学科

- 募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 コンピュータ・サイエンス(主として数理的側面からの研究分野)
 担当予定科目 情報数理学科におけるプログラミング, 情報処理序論, オペレーティングシステム, データ構造とアルゴリズム, データベース, オブジェクト指向言語などから数科目, 卒業研究指導等に加えて, 工学部・理工系学部における基礎数学科目(微積分学, 線形代数, 微分方程式など)および基礎数学のリメディアル教育
 応募資格 次のいずれの条件にも該当すること。(1)博士またはPh.Dの学位を有するかもしくは着任時までに取得見込みの方,(2)コンピュータ・サイエンス(情報工学, 情報科学など)分野のうち, 数理的側面を持つ分野を主たる研究領域とし, 学部における教育, 研究指導に熱意があり, 大学院における教育, 研究指導および学部・学内の業務を幅広く担当することが可能な方
 着任時期 2014年4月1日
 提出書類 (1)履歴書(A4用紙, ワープロ), (2)教育, 研究, 学会活動, 社会的活動に関する業績リストを項目ごとに分けて記載してください。また, 研究業績には原著論文, 著書, 総説, 研究会・シンポジウム発表, 学会・協会での啓発活動, 科学研究費補助金などの競争的資金の獲得状況も記載してください, (3)教育についての経験および抱負:以下の2つの内容をA4用紙3枚程度にまとめてください(ア)担当予定科目に関する講義経験, (イ)情報数理学科の専門科目と理工系学部の数学基礎科目双方についての抱負, (4)主要研究業績の別刷(5編, コピー可), (5)研究業績の説明と将来の研究計画(A4用紙3枚程度), (4)の主要研究業績5編についての概要を含む), (6)応募者について照会可能な方の氏名(2名以内)と連絡先(住所, 電話番号, E-mailアドレスなど)
 応募締切 2013年9月12日16時(必着)
 送付先/照会先 〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学理学部情報数理学科 主任教授 板井昌典 E-mail: itai@tokai-u.jp
 Tel(0463)58-1211 (ext. 3650) 「情報数理学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 その他 選考内容:提出書類をもとに選考を行います。選考過程で面接等(模擬授業を含む)を実施する場合, 旅費については自己負担をお願いします場合があります
 詳細は, 本学科Webページ (<http://www.ss.u-tokai.ac.jp/teacher.html>)を参照ください

■電気通信大学大学院情報システム学研究科

- 募集人員 助教 1名(任期:採用日から4年間。ただし, テニユア教員への採用が見送られた場合は, 転出等の準備のために, 最長1年間任期を延長することができます)
 所属 情報ネットワークシステム学専攻・ネットワークアーキテクチャ学講座
 専門分野 インターネット, モバイルネットワーク, アドホックネットワーク, マルチレイヤ(クロスレイヤ)プロトコル処理, 物理レイヤプロトコル, 無線伝送技術, データリンクプロトコル, ルーチング, トランスポートプロトコル, リアルタイム通信, マルチキャストなど, ネットワーク技術一般
 担当科目 情報ネットワーク学基礎2(大学院科目)
 応募資格 (1)採用時に博士の学位を有し, 上記募集分野において優れた研究業績があつて大学院教育を意欲的に担当できること(採用時までに学位取得見込み可), (2)自律的に, 独創的な研究を行う能力を有すること, (3)日本語により大学院学生を十分に指導できること
 着任時期 2014年1月1日以後のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)応募申請書類(履歴書, 研究業績リスト), (2)主要著書, 論文の別刷(5編以内, コピー可), (3)これまでの研究概要^{*}, (4)今後の研究計画概要^{*}, (5)今までの教育経験と教育に関する抱負^{*}, (6)参考となる意見を伺える方2名のお名前, 所属, 連絡先住所(E-mailアドレスを含む), および応募者との関係 ^{*}はいずれもA4用紙2枚以内。詳細は正式公募文書参照
 応募締切 2013年9月13日(必着)
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報システム学研究科 事務室
 「ネットワークアーキテクチャ学講座教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 照会先 情報ネットワークシステム学専攻ネットワークアーキテクチャ学講座 教授 加藤聰彦
 E-mail: kobo-netarch@net.is.uec.ac.jp Tel(042)443-5631
 その他 本件の正式な公募文書はWebページ (<http://www.is.uec.ac.jp/>)の教職員公募欄に掲載中です。必ずご覧いただき, その指示に沿って応募してください

■東京理科大学工学部第一部電気工学科

- 募集人員 教授または准教授 1名
 専門分野 材料・エレクトロニクス全般
 担当予定科目 電子回路, 半導体工学などの科目および物理学実験
 応募資格 博士号取得者で, 大学院の学生の研究指導ができる方
 着任時期 2014年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト著書, 学術論文, 国際会議, 学会発表, 特許 他(論文および国際会議は査読の有無を明記すること), (3)主要論文別刷(コピー可), (4)現在までの研究概要と教育歴(1000字程度), (5)志望動機および抱負(1000字程度), (6)推薦書, (7)学位記の写しまたは証明書
 応募締切 2013年9月14日(必着)
 送付先/照会先 〒125-8585 東京都葛飾区新宿6-3-1 東京理科大学工学部第一部電気工学科 主任 岩村恵市
 E-mail: iwamura@ee.kagu.tus.ac.jp Tel(03)5876-1353 Fax(03)5876-1614
 「応募書類在中」と明記し簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 その他 応募書類に記載の個人情報は, 採用選考以外の目的で使用することはありません

■東海大学工学部医用生体工学科

- 募集人員 専任講師または准教授 1名(常勤(任期なし))
- 専門分野 電気・電子工学分野の専門性を有し、医療用治療器・診断装置を対象にした教育研究に従事できる方、さらに私立大学における学生教育に熱意のある方
- 担当科目 ①電子・電気工学関連基礎科目／実習、②医用治療機器学・生体計測装置学関連科目／実習、③電気機器安全管理学関連科目
- 応募資格 博士の学位を有する方が望ましい。専門分野の実務に明るく学生教育に熱意がある方
- 着任時期 2014年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記)、(2)研究業績リスト(著書、学術誌、国際会議、その他、に区分すること)、(3)主要論文別刷(5編以内、コピー可)、(4)現在までの研究内容の説明(A4用紙2枚程度、書式自由)、(5)着任後の教育研究についての抱負(A4用紙2枚程度、書式自由)、(6)推薦書、あるいは応募者についての意見を伺える方の氏名と連絡先(2名)
- 応募締切 2013年9月20日
- 送付先／照会先 〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143 東海大学工学部医用生体工学科 学科主任 望月 明
E-mail: azmochi@wing.ncc.u-tokai.ac.jp Tel(0463)93-1121 (ext. 2816)
「教員公募書類在中」と朱書し簡易書留 *提出書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください
- その他 応募においてご提供いただいた個人情報、本学の規程に従って適切に管理し、採用選考以外の目的には使用いたしません
勤務地：伊勢原校舎(伊勢原市下糟屋)および湘南校舎(平塚市北金目)
選考内容：一次選考：書類審査、二次選考：面接審査(一次選考合格者のみ)
選考結果の通知：選考実施後、応募者全員にメールで可否をお知らせします

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

- 募集人員 教授または准教授 1名
- 専門分野 情報工学(信号処理)または関連分野
- 学 科 目 知能情報メディア工学
- 担当科目 デジタル信号処理、論理回路、情報工学実験、情報基礎ゼミナール
- 応募資格 専門分野のうち、特に学科目に関連ある分野で教育・研究業績があり、以下の項目に該当する方
1)博士の学位を有する方、2)大学院の教育・研究指導を担当可能な方、3)教育経験のある方が望ましい
- 着任時期 2014年4月1日
- 提出書類 ①履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動)、②研究業績リスト(著書、学術誌論文(査読付き)、国際会議論文、その他論文を区別して記載)、③主要論文別刷(5編程度)、④これまでの研究概要と今後の研究計画、⑤本学における教育研究に対する抱負、⑥応募者の状況を説明できる方2名の氏名・所属・連絡先
※紙での提出に加え、電子ファイル等のデジタルデータをUSBメモリまたはCDでも提出してください。ただし、③は除く
- 応募締切 2013年9月27日(必着)
- 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
「情報工学科教員信号処理応募書類在中」と朱書し簡易書留 *原則として、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
- 照会先 情報工学科 教授 徐 海燕 E-mail: xu@fit.ac.jp Tel(092)606-4892 Fax(092)606-1342

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

- 募集人員 教授または准教授 1名
- 専門分野 情報工学(人工知能)または関連分野
- 学 科 目 知能情報メディア工学
- 担当科目 人工知能応用、電子回路、情報工学実験、情報基礎ゼミナール
- 応募資格 専門分野のうち、特に学科目に関連ある分野で教育・研究業績があり、以下の項目に該当する方
1)博士の学位を有する方、2)大学院の教育・研究指導を担当可能な方、3)教育経験のある方が望ましい
- 着任時期 2014年4月1日
- 提出書類 ①履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動)、②研究業績リスト(著書、学術誌論文(査読付き)、国際会議論文、その他論文を区別して記載)、③主要論文別刷(5編程度)、④これまでの研究概要と今後の研究計画、⑤本学における教育研究に対する抱負、⑥応募者の状況を説明できる方2名の氏名・所属・連絡先
※紙での提出に加え、電子ファイル等のデジタルデータをUSBメモリまたはCDでも提出してください。ただし、③は除く
- 応募締切 2013年9月27日(必着)
- 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
「情報工学科教員人工知能応募書類在中」と朱書し簡易書留 *原則として、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください
- 照会先 情報工学科 教授 徐 海燕 E-mail: xu@fit.ac.jp Tel(092)606-4892 Fax(092)606-1342

■北海道大学大学院情報科学研究科

- 募集人員 准教授 1名
 専門分野 光通信および光エレクトロニクス
 担当科目 学部および大学院において、情報通信関連の講義、実験、演習を担当
 応募資格 博士の学位を有し、上記専門分野について、教育および研究に積極的で、学生の指導に熱意があり、優れた研究業績を持っている方
 着任時期 2014年1月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書、(2)業績リスト、(3)代表的な原著論文別刷(5編、コピー可)、およびそれらの概要、(4)現在までの教育・研究歴と教育・研究業績の概要、(5)将来の教育・研究に対する抱負と展望、(6)応募者について参考意見を伺える方2名、(7)(1)～(6)の書類(原本)各1部に加え、それらすべてをCDあるいはDVD等に電子ファイルとして納めたもの
 ※詳細はWebページ(<http://www.ist.hokudai.ac.jp/information/recruit.php>)を参照のこと
 応募締切 2013年9月27日(必着)
 送付先 〒060-0814 北海道札幌市北区北14条西9 北海道大学工学系事務部情報科学研究科事務課 Tel(011)706-6514
 郵送の場合は「情報通信システム学講座教員応募書類(No.25-12)」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却しません
 照会先 情報科学研究科 メディアネットワーク専攻長 荒木健治
 E-mail: araki@media.eng.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6534 Fax(011)706-6534
 その他 選考において面接を行う場合があります。ただし、面接にかかる費用については各自ご負担願います

■神奈川大学工学部情報システム創成学科

- 募集人員 ①教授または准教授 1名、②特別助教または特別助手 2名
 専門分野 ①情報学基礎または情報学の応用
 ②オペレーションズ・リサーチ関係分野(1名)、情報学基礎または情報学の応用分野(1名)
 応募資格 ①博士の学位を有し、教育・研究ならびに学生の指導に熱意を持ってでき、大学院の教育と研究指導を担当できる方
 ②大学院博士後期課程修了者(取得見込みを含む)または同等以上の研究業績を有する方
 着任時期 2014年4月1日(予定)
 応募締切 ①2013年9月30日(必着)、②2013年10月31日(必着)
 送付先 〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1 神奈川大学学長室気付 工学部長 庄司正弘
 照会先 情報システム創成学科 主任 今井崇雅 Email: imai@kanagawa-u.ac.jp Tel(045)481-5661
 その他 本学Webページ(<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>)掲載中の公募要項、「履歴書」および「教育研究業績書」記入要領を必ずご確認ください

■駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部情報ネットワーク分野

- 募集人員 経歴および業績に応じ当大学の規程に従い、助教、講師、または、准教授のいずれかとして採用予定 1名
 主要担当科目 情報リテラシー、情報リテラシー実習、メディアと情報、デジタルメディアと学び、ネットワーク進化論、Webコンテンツ基礎、情報メディア開発論、演習(ゼミ)(いずれも半期(半年)科目、このほかにオムニバス形式の科目等があります)
 応募資格 次の(1)から(4)のいずれも満たしていること
 (1)博士号を有する(着任時での取得見込みを含む)か、またはこれと同等の研究業績を有すること、(2)情報ネットワーク分野(コンピュータネットワーク、モバイルコンピューティング、ユビキタスコンピューティング、センサネットワーク等)を専門とすること、(3)上記「主要担当科目」(演習を含む)を担当できること、(4)将来、大学院においても論文指導を担当できること
 ※授業および学内業務を円滑に行う日本語能力に加えて、英語でのコミュニケーション能力を有することが望ましい
 採用予定年月日 2014年4月1日
 提出書類 (1)志望理由・担当科目の教育計画・研究計画(これら3点について、書式は自由、日本語で2500字以内となるようまとめてください)、(2)本学所定の様式による履歴書(様式は以下からダウンロードできます：<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/jinji>)、(3)研究業績リスト(主要業績5点に○印を付してください)：次の①から④に分類した全リスト。ただし、①、②については全著者名、タイトル、雑誌、巻号、発行年、ページを記載してください。①査読付き研究論文(学術誌等に掲載済みのもの)、②査読付き国際会議発表論文、③前記①、②以外の論文等(国内学会等で発表した論文等、査読の有無を付与すること)、④その他(書籍、報告書、研究ノート等)、(4)(3)に記載する業績のうち主要なもの3点の現物または別刷・抜刷等(各3部、コピー可)。ただし、上記(3)の①、②、③のうちから選択してください。それぞれに300字程度の要約を付けること、(5)博士号の学位記のコピーまたはそれを証明する文書(博士号を保持しない場合は最終学歴の証明書)
 応募締切 2013年9月30日(必着)
 送付先 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部長 川崎賢一
 Tel(03)3418-9535(グローバル・メディア・スタディーズ学部事務室)
 「専任教員応募書類在中」および、応募分野「情報ネットワーク分野」と朱書きし必ず書留または簡易書留(窓口受付はいたしません)
 *提出書類は原則として返却いたしません ※提出書類は、上記「提出書類」の(1)から(5)に限ります
 その他 応募に際しご提出いただいた個人情報、本学の規程にしたがって適切に管理し、採用選考の目的以外には使用いたしません
 選考方法：書類審査、および面接・模擬授業(書類審査合格者に対して通知します)
 結果の通知：(1)第1次審査(書類審査)の結果は10月下旬を予定、(2)最終審査の結果は11月下旬を予定

■電気通信大学大学院情報システム学研究科

募集人員	助教(テニユア・トラック) 1名
所 属	情報基盤学専攻・情報システム基礎学講座
専門分野	コンピュータ科学の理論分野に習熟し、その最新の成果を活用して応用分野での研究・教育ができる人。理論分野の例としては、アルゴリズム、学習理論、情報理論、数理モデル、組み合わせ論など、応用分野の例としては、パターン認識、データマイニング、ネットワークシステム、コンピュータビジョン、自然言語処理などが考えられる
担当科目	「情報システム基盤学基礎1, 2」「情報システム基盤学合同輪講」などの大学院科目、ならびに、情報システム基盤学専攻における学生指導
応募資格	1.採用時に博士の学位を有しており、かつ、上記募集分野において、優秀な研究を推進していること、2.自律して独創的な研究を行い得る能力を有すること、3.博士号取得後10年以内であること、4.日本語により学生を指導できること
着任時期	2014年1月1日(以降のできるだけ早い時期)
提出書類	(1)応募申請書類(履歴書、研究業績リスト) ^{※1} 、(2)主要著書、論文別刷(5編以内、コピー可)、(3)これまでの研究概要 ^{※2} 、(4)今後の研究計画概要 ^{※2} 、(5)今までの教育経験と教育に関する抱負 ^{※2} 、(6)参考となる意見を伺える方2名のお名前、所属、連絡先住所(E-mailアドレスを含む)、および応募者との関係 ^{※1} 応募申請書の様式をダウンロードし、記入してください: http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/oubo_sinseisyu.pdf (PDFファイル)、 http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/date/oubo_sinseisyu.doc (MS-wordファイル)、 ^{※2} いずれもA4用紙2枚以内
応募締切	2013年9月30日(必着)
送 付 先	〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報システム学研究科情報システム基盤学専攻 事務室 「情報システム基礎学講座教員応募書類在中」と朱書き簡易書留。併せて、発送の旨を下記照会先へE-mailによりお知らせください
照 会 先	情報システム学研究科 教授 大森 匡 E-mail: koubo@sd.is.uec.ac.jp Tel(042)443-5616
そ の 他	本学テニユア・トラック制度によって採用されます。任期4年。ただし、テニユア教員への採用が見送られた場合は、転出等の準備のために、最長1年間任期を延長することができます 本件の正式な公募文書はWebページ(http://www.is.uec.ac.jp/event/kobo/)に掲載中です。必ずご覧いただき、その指示に沿って応募ください

■東海大学情報通信学部情報メディア学科

募集人員	准教授または講師 1名
専門分野	マルチメディア(コンピュータグラフィクス、コンピュータビジョン、VRなど)、ソフトウェア(ソフトウェア開発など)
担当科目	コンピュータグラフィクス、運動シミュレーションに関する科目、プログラミング/ソフトウェア開発関連科目など
応募資格	博士の学位(日本における博士の学位と同等と認められる外国の学位を含む)を現に有するか、着任までに確実に取得できること、学部・学科運営に積極的に協力できること、実務または教育の経験者が望ましい
着任時期	2014年4月1日
提出書類	(1)履歴書(氏名・生年月日・学位称号・本務勤務先および職名・現住所・学歴・職歴・学会および社会における活動・賞罰を記載)、(2)研究業績リスト(著書、論文、学会・学術集会発表(最近5年間)、教育・啓発活動などを記載)、(3)最近5年間の論文、学会・学術集会発表、調査報告書等の別刷(主要なもの7編以内、コピー可)、(4)応募の動機、本学での教育・研究への抱負(A4用紙、ワープロ、1500字程度)、(5)推薦書1通または応募者について意見を伺える方2名程度の氏名・連絡先を記載した文書
応募締切	2013年9月30日(必着)
送付先/照会先	〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23 東海大学情報通信学部情報メディア学科 熱田清明 E-mail: atsuta@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp Tel(03)3441-1171 (ext. 1518) 「情報メディア学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 ※応募書類は原則として返却いたしません
そ の 他	書類選考後に面接を行います

■東京大学生産技術研究所ソシオグローバル情報工学研究センター

- 募集人員 准教授もしくは講師 1名
 担当分野 ソシオグローバル情報工学研究センターにおける研究に関連する諸分野(詳細を参照)
 応募資格 学位取得直後から10年以内の方で、将来テニユアに移行できるような方(詳細を参照)
 着任時期 2014年1月1日以降、なるべく早い時期
 提出書類 (1)履歴書(指定書式:http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html), (2)研究業績リスト(査読付き原著論文, 査読付き国際会議論文, 解説論文(以上, 全著者名, 開始ページ・終了ページを含める), 著書・編著, 特許, 受賞, その他(査読無し国際会議論文を含む。口頭発表は査読の有無を区別), に分類), (3)主要論文別刷(3編程度。業績リスト中に明記し, 被引用回数情報をつけること), (4)外部資金獲得実績(代表・分担の別を明記), (5)従来の研究概要(適宜, 図式等を含め, 主要論文との関係が分かるように2000字以内でまとめてください), (6)今後の研究ビジョン(研究目的・課題・計画・方法などについて2000字以内), (7)教育に対する抱負(1000字以内), (8)応募者について照会に応じられる方2名の氏名と連絡先(電話番号とE-mailアドレスを含む)
 ※応募書類すべてを印刷したもの1部とCD-ROMに保存したものを提出してください
 応募締切 2013年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所ソシオグローバル情報工学研究センター長 佐藤洋一
 E-mail: ysato@iis.u-tokyo.ac.jp Tel(03)5452-6278
 「ソシオグローバル情報工学研究センター公募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません
 その他 詳細についてはWebページ(http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/announce/2013/koubo_130620.pdf)を必ずご確認ください
 応募書類に含まれる個人情報は、選考および採用以外の目的には使用いたしません

■(株)豊田中央研究所

- 募集人員 客員研究員 各1名(最長3年, 1年ごとの更新)
 職務内容 ①共創による新しいものづくりに関する研究, ②大規模走行データ処理, 運転行動の数理モデリングなどの自動車の知能化にかかわる研究
 専門領域/専攻分野 ①工学/機械工学, ②情報工学/知能情報処理, 機械制御システム/システム制御
 応募資格 ①自動車工学の知識を有し, 実務に加え論文執筆等の学術的なアプローチをする意欲のある修士以上の方, ②制御理論または機械学習に関する経験があり, 博士の学位を有する方
 着任時期 2013年10月1日~(応相談)
 提出書類 履歴書, 職務歴(研究実績), 論文リスト, 主要論文別刷(コピー可)等
 応募締切 2013年9月30日(順次選考, 採用が決定次第終了)
 送付先/照会先 〒480-1192 愛知県長久手市横道41-1 (株)豊田中央研究所 人事室 採用担当
 E-mail: saiyo@mosk.tytlabs.co.jp Tel(0561)63-6509 Fax(0561)63-5744
 職務内容を明記の上, お送りください *応募書類は返却いたしません
 その他 応募の秘密は厳守いたします

■名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科

- 募集人員 教授または准教授 1名
 専門分野 知覚情報処理, 知能ロボティクス, 知能情報学
 担当科目 大学院教育では博士前期および後期課程における専門分野の講義と教育研究指導, 教養教育では数学関連科目の講義
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 2014年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)希望の職名(教授, 准教授), (3)研究業績リスト, (4)主要論文別刷(5編以内, コピー可), (5)これまでの研究の概要(A4用紙2枚程度), (6)教育経験, (7)今後の研究・教育についての抱負(A4用紙2枚程度), (8)過去5年間の研究費採択状況, 特許, 受賞等特記すべき事項, (9)問合せのできる方の氏名と連絡先(2名)
 ※上記の書類一式とそのPDFファイルを取めたCDまたはDVDを同封
 応募締切 2013年9月30日(必着)
 送付先 〒467-8501 愛知県名古屋市長久手市瑞穂区瑞穂町山の畑1 名古屋市立大学 山の畑事務室
 「システム自然科学研究科教員応募書類(情報系)」と朱書き簡易書留 *提出書類は原則として返却いたしません
 照会先 システム自然科学研究科 鈴木善幸
 その他 選考方法: 書類審査後, プレゼンテーションと面接を行う場合があります。その際, 当研究科から旅費の支給はありません
 本研究科は教員採用に際して, 男女共同参画の実現に努力しており, 諸事情を十分考慮して選考を行います
 詳細はWebページ(<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp>)を参照ください

■北海道大学情報基盤センター

- 募集人員 教授 1名(常勤, 任期なし)
- 所属 大規模計算システム研究部門
- 専門分野 ハイパフォーマンスコンピューティング, 特に, 高性能並列処理に関連した研究, 低消費電力・高性能計算機アーキテクチャに関連した研究, クラウドコンピューティングに関連した研究, 大規模ファイルシステムに関連した研究, 計算科学のための利用環境に関連した研究
- 任 務 所属部門において専門分野の研究に従事し, 全学教育科目および大学院教育を担当する
大型計算機システムの運用, 管理業務, 利用支援において指導的役割を担うとともに, 大型計算機システムの調達業務を担当する
北海道大学情報基盤センターの中心的メンバとして, JHPCNおよびHPCIの活動に従事するとともに, これら組織により実施されている公募型共同研究に積極的に参加する
- 応募資格 次の要件をすべて満たす方。(1)博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む)を有する,(2)ハイパフォーマンスコンピューティングに関する研究または開発の実績を有する,(3)学会活動等社会貢献活動の実績を有する,(4)大学院博士課程における教育・研究指導の実績(授業担当, 主査あるいは副査等)または, これに相当する能力を有する
上記の要件に加えて, 大型計算機システムの調達, 運用, 利用支援の実績を有することが望ましい
- 着任時期 2014年1月1日以降できるだけ早い時期
- 提出書類 (1)履歴書(氏名, 国籍, 生年月日, 現住所, E-mailアドレス, 電話番号, 所属, 職名, 学歴, 職歴, 学位を記載すること),(2)研究業績リスト(論文, 著書, 解説, 著者名, 発行所名, 発行年, ページ数等を明記すること. 論文は査読付きの有無を明記すること. また, 著書, 解説はその旨を明記すること),(3)主要業績の原著作物(5編, コピー可),(4)主要業績の説明および教育実績を含む研究・教育活動の概要(応募資格の(2)および(4)について明記すること),(5)競争的資金の獲得状況(代表・分担を明記すること),(6)所属学会と役職等活動歴, その他社会貢献活動,(7)受賞歴, その他教育・研究活動および学会活動等社会貢献活動を評価できる資料,(8)大型計算機システムの調達, 運用, 利用支援の実績,(9)将来の教育, 研究, 大型計算機システムの運用・利用支援に関する抱負と展望または応募の趣旨(情報基盤センターの活動にどのように貢献するかという記述を含めること),(10)応募者について所見を求めることができる方2名以内の氏名, 役職, 連絡先
- 応募締切 2013年9月30日17時(必着)
- 送付先 〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西5 北海道大学情報環境推進本部情報推進課総務企画担当 Tel(011)706-2923
「大規模計算システム研究部門教授応募書類在中」と朱書き直接持参または簡易書留(E-mailでの応募は受け付けない)
- 照会先 情報基盤センター 大規模計算システム研究部門 教授 大宮 学 Tel(011)706-2946
- その他 情報基盤センター(研究部門構成を含む)については, 本センター Webページ(<http://www.iic.hokudai.ac.jp/>)を参照ください

■東京農工大学工学研究院先端情報科学部門/工学府情報工学専攻

- 募集人員 教授 1名
- 専門分野 コンピュータネットワーク, セキュリティ, ソフトウェア工学, 自然言語処理, データマイニング, データベースなど, 計算機科学・工学, 情報工学におけるいずれかの分野
- 応募資格 (1)計算機科学・工学, 情報工学分野において高い研究実績を有し, 先進的・先導的研究を展開できる方,(2)研究を通じた博士人材の育成ができる方,(3)ほかの教職員と協力して本専攻・学科の管理運営に積極的に貢献いただける方
- 着任時期 2014年4月1日
- 応募締切 2013年10月3日16時(必着)
- 送付先/照会先 東京農工大学大学院工学研究院先端情報科学部門 並木美太郎 E-mail: namiki@cc.tuat.ac.jp
- その他 書類と提出方法については, 本学の教員公募のWebページ(<http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/>)中の「現在の公募」に本公募資料がありますので, 必ずご一読ください

■石巻専修大学理工学部情報電子工学科

- 募集人員 助教 1名(任期3年:通算6年を超えない範囲で再任可)
- 専門分野 ソフトウェア主体の情報工学または情報科学
- 担当科目 プログラミング論などの情報工学関連科目, 実験, 演習, 卒業研究を担当
- 応募資格 ①博士の学位を有する方, もしくは着任時までに取得見込みの方, ②プログラミングに精通している方, ③私立大学における教育・研究に熱意のある方
- 着任時期 2014年4月1日
- 提出書類 ①履歴書(様式自由), ②研究業績リスト(応募者に下線), ③主要論文等の別刷(5編以内, コピー可), ④これまでの研究概要^{*}, ⑤教育に対する抱負と今後の研究計画^{*}, ⑥教育歴のある方はその概要^{*}, ⑦推薦書1通, ⑧照会可能な方2名の氏名と連絡先(⑦の推薦者を含めてよい) ※はいずれもA4用紙1枚以内
- 応募締切 2013年10月15日(必着)
- 送付先/照会先 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1 石巻専修大学理工学部情報電子工学科 主任 中込真二
E-mail: nakagomi@isenshu-u.ac.jp Tel(0225)22-7716
「助教応募書類在中」と朱書き書留または簡易書留 *書類は返却いたしません(書類は採用審査のみに使用)
- その他 書類審査後, 必要に応じて面接を行います(交通費支給)
詳細はWebページ(<http://www.isenshu-u.ac.jp/general/employment/>)をご覧ください

■茨城大学工学部情報工学領域

募集人員 助教または准教授 2名
専門分野 ①情報基礎分野(情報科学・情報工学の基礎分野を専門とし、情報社会学分野にも関心のある方)1名
②ソフトウェア分野(ソフトウェア科学・工学分野、およびそれらを基礎とする情報社会学分野の専門の方)1名
応募資格 博士学位(取得見込み含)、大学院生の研究指導補助ができる方、教育研究に意欲を持って取り組める方
着任時期 2014年4月1日
応募締切 2013年10月18日(必着)
照会先 情報工学領域 羽瀬裕真 E-mail: habuchi@mx.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-5147
その他 詳細はWebページ(<http://www.ibaraki.ac.jp/employment/>)を参照ください
男女共同参画社会基本法の趣旨に則り女性の積極的な応募を歓迎します

■会津大学コンピュータ理工学部コンピュータ工学部門

募集人員 上級准教授または准教授 1名
専門分野 コンピュータ工学, 情報工学
担当科目 コンピュータアーキテクチャ論, 組込みシステム学等
応募資格 博士号取得者、大学院博士後期課程の指導が可能な方、組込みシステム開発の経験と実績を有する方
着任時期 2014年4月以降のできるだけ早い時期
提出書類 履歴書、研究・教育業績、担当可能科目等(詳細は下記URLを参照ください)
応募締切 2013年10月31日(必着)
送付先 会津大学 企画運営室 奥平恭子 E-mail: fsc2013@u-aizu.ac.jp ※電子ファイルのみで受け付けます
その他 詳細を必ずWebページ(<http://www.u-aizu.ac.jp/information/public-class/kyoinkoubo.html>)にてご確認ください

FIT2013 第12回情報科学技術フォーラム開催の御案内

FIT2013Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/>

主催：情報処理学会、電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ/ヒューマンコミュニケーショングループ
共催：国立大学法人 鳥取大学
協賛：公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー、一般社団法人 鳥取市観光コンベンション協会

情報処理学会と電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）とは2002年から共同で毎年秋季にFIT（Forum on Information Technology）を開催しており、来る2013年9月に第12回目を鳥取大学鳥取キャンパスで開催致します。開催当日も聴講参加受付を致しますので、皆様、どうぞ奮って御参加下さい。

聴講参加を御希望の皆様は、会場のFIT2013総受付（共通教育棟 A棟1F 語学シャワー室）にお越し頂き、受付手続きを頂きまして御参加下さい。

会期：2013年9月4日（水）～6日（金）
 会場：鳥取大学鳥取キャンパス（鳥取県鳥取市湖山町南4-101）
 交通：鳥取空港からタクシー約5分。
 鳥取駅から山陰本線で鳥大前駅約10分、下車徒歩3分。
 鳥取駅前北口バスターミナルからバスで鳥大前または鳥商前バス停約30分、下車徒歩5分。
 ※鳥取空港～鳥取大学 間は、航空便ダイヤにあわせてシャトルバスを運行予定 約10分
 詳細：<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/access.html>
 ※お車（自家用車）での御来場は御遠慮下さい。
 当日受付場所：共通教育棟 A棟1F 語学シャワー室
 当日受付時間：4日8:30-16:30 / 5日8:30-16:30 / 6日8:30-15:00

■聴講参加費（税込）

参加区分	参加費
正会員	10,000円（プログラム・参加章・DVD-ROM）
非会員	20,000円（プログラム・参加章・DVD-ROM）
学 生	無料（プログラム・参加章）

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下のとおりです。
 会 員：情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会（ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI）または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会（IEEK、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE）の個人会員に限ります。
 非会員：上記の学会会員以外で学生以外の方。
 学 生：会員/非会員を問わず無料（DVD-ROMは付きません）。
 社会人学生の方も、学生証を総受付で提示頂ければ無料です。
 ※無料公開の船井業績賞受賞記念講演のみ聴講を希望される方は、どなたでも無料です。FIT2013総受付（共通教育棟 A棟1F 語学シャワー室）で受付をお願い致します。

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格（税込）

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集各分冊	12,000円	15,000円
DVD-ROM	8,000円	55,000円

※セットには、DVD-ROM、セットカバーが付きまます。
 ※DVD-ROM学割会場販売価格4,000円。
 ※会期中も講演論文集、DVD-ROMの販売を致しますが残部のある限りとなりますのであらかじめ御了承下さい。

■講演論文集の内容（分野）

第1分冊：モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ
 第2分冊：データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学
 第3分冊：画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 第4分冊：ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム
 DVD-ROM：上記全論文とプログラムを収録（著者、所属、キーワードによる索引付き）
 ※FIT査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ掲載

■懇親会

開催日時：9月5日（木）18：45～20：45
 会 場：ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(東)
 参 加 費：社会人 5,000円、学生 2,000円、
 一般講演座長または査読者 3,000円
 ※FIT2013会場の鳥取大学から懇親会会場までは送迎バスで移動。

■開催イベント企画（詳細はFIT2013Webサイトを御覧下さい）

[招待講演企画・表彰式]

◎船井業績賞受賞記念講演
 5日14:00-15:15 第1イベント会場（共通教育棟 A棟2F A20）
 「Rubyが成し遂げたこと」
 まつもと ゆきひろ（Rubyアソシエーション 理事長）
 ◎FIT学術賞表彰式
 5日13:00-13:50 第1イベント会場（共通教育棟 A棟2F A20）

[イベント企画]

第1イベント会場（共通教育棟 A棟2F A20）
 4日 09:30-12:00 国際情勢の変化から見るサイバー攻撃
 ～その本質を探る～
 13:00-15:00 第2回統一の評価基準に基づく電子透かし
 コンテスト
 ～チャレンジングな評価基準を超えられるか！～
 15:30-17:30 身近になったライフログ
 5日13:00-13:50 FIT学術賞表彰式
 14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演
 15:30-17:30 ビッグデータ時代到来！
 ～ウェブ最先端企業が最新動向を語る～
 6日 09:30-12:00 環境問題とサイバーワールド
 ～身近な問題にどうやって取り組むか～
 13:00-15:00 映像符号化の最新動向 ～HEVC標準化～

第2イベント会場（共通教育棟 C棟2F C21）

4日 09:30-12:00 人文科学における時空間情報の活用
 13:00-15:00 ビッグデータ時代のオンライン学習アルゴリズム
 15:30-17:30 受賞者フォーラム：メディア認識・理解の
 最前線と若手へのメッセージ
 5日 10:00-12:00 ICTにおける産業界が望むヒューマンリソース
 ～ICTの将来を担うキャリアを究める～
 15:30-17:30 ソーシャルメディアの分析
 ～経済物理学、数理モデルの観点から～
 6日 09:30-12:00 学びを科学する：MOCsでCloudなBig Dataを
 Learning Analytics！
 13:00-16:00 基礎理論が導く最先端技術：計算限界解明への取
 り組みと超高速アルゴリズム開発

■問い合わせ（FIT2013幹事学会）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F
 一般社団法人 情報処理学会 事業部門
 TEL. 03-3518-8373 FAX. 03-3518-8375
 E-mail: jigyos@ipsj.or.jp

■次年度のFIT2014開催（予定）

会 期：2014年9月3日（水）～5日（金）
 会 場：筑波大学 筑波キャンパス（茨城県つくば市）

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

情報処理学会推奨 修士論文・卒業論文認定

情報処理学会創立 50 周年記念（第 72 回）全国大会より、「情報処理学会推奨卒業論文・修士論文認定制度」を実施しております。これは、卒業論文・修士論文で行った研究内容に関して、優れたものであることを認定するものです。個々の大学における学位授与に加えて、学会における推奨認定が与えられることは、今後の研究者・技術者としてのキャリアに大いに資するところとなるでしょう。本年度は第 75 回全国大会で発表された学生セッションのうち、修士論文 9 名、卒業論文 28 名を認定いたしました。

【修士論文 認定者】

- 弾き直し・弾き飛ばしを含む音楽演奏への高速な音響入力楽譜追跡 中村友彦（東京大学）
- 観光情報配信のためのコンテンツ管理システムの開発と導入 荻原勇一（岩手県立大学）
- モデル検査を用いた C 言語プログラムの不具合修正ツールの開発 古川直樹（大阪工業大学）
- 可搬記録媒体から PC 内にコピーされた残留ファイルの検出手法の開発 佐藤 諒（秋田大学）
- 携帯電話の連続的な格納場所判定のための格納動作時および歩行中の判定処理併用手法 河内智志（東京農工大学）
- TPM を用いた Virtual Monotonic Counter の階層型接続による順序認証システムと Java によるライブラリ 掛井将平（岐阜大学）
- やさしい日本語作成支援のための言語圏を考慮した日本語難易度自動推定 張 萌（東北大学）
- パケット廃棄を用いる TCP 公平性改善における性能と公平性の関係に関する考察 大浦 亮（工学院大学）
- Score following of human accompaniment using a lead-sheet for an artificial lead singer アン ジュヨン（京都大学）

【卒業論文 認定者】

- オブジェクトおよびアスペクト指向プログラミング言語との比較実験を通じた新しいコンテキスト指向プログラミング言語の提案 加藤史也（早稲田大学）
- Composing Music for You : ユーザの嗜好を取り入れた和声学に基づく合唱譜自動作成システム EVANS BENJAMIN LUKE（北海道大学）
- 複数の深度センサを利用したユーザの向きに依存しないジェスチャ認識手法 都竹尚紀（千葉大学）
- 光信号による端末位置検出と複数 AP の協調による無線 LAN の通信容量向上手法の検討 伊藤達哉（静岡大学）
- データベースアプリケーションの実行時省電力に関する考察 飯村奈穂（お茶の水女子大学）
- 葉脈パターンを反映した虫食い跡をもつ葉のビジュアルシミュレーション 金子徳秀（慶應義塾大学）
- ロード値予測における予測精度と IPC の向上 森脇信啓（立命館大学）
- モバイル端末混在環境に適応した SkipGraph の提案 安友洋平（公立はこだて未来大学）
- conteXinger : 日常のコンテキストを取り込んだ歌声生成 西村綾乃（お茶の水女子大学）

- LP ライブラリの GPU 高速化におけるデータ依存性の解析 津金佳祐（法政大学）
- マンガのデザインメタデータを利用した制作過程の可視化による制作支援 萩原 彰（筑波大学）
- 地方公共団体向けの IT ガイドラインに追加すべき項目の検討 加山英賢（工学院大学）
- コミュニティサイトにおける危険ユーザ発見手法の検討 深尾和寿（立命館大学）
- クアドロコプターを用いた飛行雑音に頑健な音源定位 古川孝太郎（京都大学）
- 将棋における人の直感的指し手選択を目指した評価関数の獲得 森 潤一（横浜国立大学）
- CUBIC TCP の RTT 公平性の改善 神津智樹（工学院大学）
- 動的なオントロジーマッピング手法の適用による植物オントロジーの LOD 化の検討 野口宙毅（静岡大学）
- SSL/TLS 処理のパフォーマンス解析について 小川梨恵（明治大学）
- CPU 拡張命令の対応の有無による CPU アーキテクチャの推測 桐生直輝（明治大学）
- 快適な運転支援のためのスマートフォンを用いた路面状況の推定手法の提案 野村智洋（公立はこだて未来大学）
- ガウス過程事前分布を用いた空間変化混合モデルによる画像分割 栗栖昂勢（広島市立大学）
- GPU を用いた階層的クラスタリングの高速化 天岸篤志（立命館大学）
- 利用者の発言内容にもとづいた情報公開範囲設定システムの提案と実装 中谷奈緒（和歌山大学）
- 距離減衰モデルを用いたバス通過判定手法の検証 足達 元（名城大学）
- OpenFlow による fat-tree ネットワークのマルチレイヤ経路制御 岡崎雄太（法政大学）
- 調音特徴の円唇・緊張・R 音を組み込んだ英語母音発音マップ 風張 航（豊橋技術科学大学）
- ハイブリッド位置情報サービスのための POI 情報の統合プラットフォーム 一円真治（名古屋大学）
- スマートフォンを用いた視聴者用静止画インターネット放送システムの実装 廣田夏輝（岩手県立大学）

※ 上記（ ）の所属は発表時のものです。

会誌「情報処理」55巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・簡単なデザインコンセプトを添えてください。
- ・応募資格は問いません。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2013年11月5日（火）（必着）

結果通知 2013年11月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 25,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 52,500 円（税込）※3 社限定
フッタ：1 回 21,000 円（税込）
※ それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時：1 月 10 日（火）・11 日（水）・12 日（木）13：00～17：00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>
— [広告] —



CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

Journal of Information Processing

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce two years extension of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2015 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。

対象は 2015 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。

このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms_side.html

情報処理学会 論文誌ジャーナル, JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。
また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSJ) E-mail: edit@ipsj.or.jp

日本のコンピュータ史

情報処理学会歴史特別委員会 編
A5判・388頁 定価7980円(本体7600円+税)

The History of Japanese Computers



1980年から2000年の20年間の日本のコンピュータの歴史を情報処理学会歴史特別委員会で検証してまとめたものです。この時代は、パソコンとインターネットの時代へとITが大きく変貌と遂げた激変の時代であり、その最前線で関わった人たちによって執筆されています。

1960年以前の歴史をまとめた「日本のコンピュータの歴史」と1960年から1980年をまとめた「日本のコンピュータ発達史」をCD-ROMに収録して添付しています。

【編集委員会】

- 委員長：笈田 弘(前沖電気工業株式会社)
- 幹事：松永俊雄(東京工科大学名誉教授)
- 委員：旭 寛治(前株式会社日立製作所)／鶴飼直哉(前富士通株式会社)／浦城恒雄(東京工科大学名誉教授)／坂井修一(東京大学)／前島正裕(国立科学博物館)／山田昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)／和田英一(東京大学名誉教授)

【目次】

- 第1章 日本のコンピュータ史概論(1980年まで)
- 第2章 日本のコンピュータ史概論(1980年から2000年まで)
- 第3章 日本のコンピュータの発展 汎用大型コンピュータ(メインフレーム)／オフィスコンピュータ／パーソナルコンピュータ／スーパーコンピュータ／ワークステーション・サーバ／日本語ワードプロセッサ(ワードプロセッサ)／周辺機器／専用端末装置システム／ソフトウェア／文字コード／大学など研究機関での活動
- 第4章 ネットワーク社会への展開 ネットワーク環境の変遷／OSIの始まりと終焉／インターネット／モバイルコミュニケーション／電子商取引
- 第5章 情報技術分野の主要な研究開発プロジェクト 概要／第五世代コンピュータ／科学技術用高速計算システム／リアルワールド・コンピューティング／TRONプロジェクト／DIPS
- 第6章 その後の進展と今後の展望
- 年表・年譜

「日本のコンピュータ史」購入申込書

送付先 ■ 〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人 情報処理学会出版担当
Tel: (03)3518-8371 (部門直通) Fax: (03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp

会員価格 ■ (送料・税込み) **7,182円**

*学会間の相互協力により、情報処理学会、電気学会、照明学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会の5学会の個人・法人会員の方は、会員価格で購入できます。

記入欄

◎所属学会

学会名: _____ 会員 No.: _____

◎購入申込冊数

購入申込冊数 _____ 冊 合計金額 _____ 円

◎お支払い方法 下記の該当お支払い方法にチェック☑し、見積・納品・請求書の希望枚数をご記入ください。

お支払い方法: 銀行 郵便振替 現金持参

見積・納品・請求書 (3枚綴り): _____ 通 希望 請求書宛先: _____

◎送付先 (※は必須事項)

ご氏名*: (漢字) _____ (カナ) _____

送付区分*: 自宅 勤務先

ご住所*: 〒 _____

会社/学校名: _____ 所属: _____

Tel*: _____ Fax: _____

E-mail*: _____

◎通信欄 (要望事項等あればご記入ください)

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
 カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社 / 貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。
 また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名, 担当者, 連絡先 (住所、Tel、Fax、E-mail) ◆封入希望月
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください (PDF、Fax可)。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日) です。日付指定にて必要枚数 (20,000 枚) を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※ 納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※ 納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

☎ 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

1通あたり
 約16円!

※ 価格はすべて税込

基本価格 367,500 円

対象：全会員 20,000 通 配布

(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や
 共催事業は
 さらに割引も!

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
 (基本価格の40% Off!) 220,500 円

情報処理学会主催・共催事業*
 (基本価格の80% Off!) 73,500 円

* 情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り (その他についてはご相談ください)
 用紙：色上質厚口 (四六判 80kg) またはコート紙 (四六判 90kg) 相当

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

CONTENTS

Preface

The Future Opened up by Information Processing Technologies

Masataka GOTO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))

Special Features

Common Problems in the Software Engineering Community

876 0. Foreword

Tomoji KISHI (Waseda Univ.) and Natsuko NODA (Shibaura Institute of Technology)

878 1. What Are Common Problems in the Software Engineering Community?

Tomoji KISHI (Waseda Univ.) and Shintarou HOSOAI (Kyushu Univ.)

882 2. Today's Common Problems in the Software Engineering Community

Natsuko NODA (Shibaura Institute of Technology) and Yoshio KATAOKA (Toshiba Corp.)

886 3. The Sakaya-problem Revisited : Towards Definition of a New Common Problem

Katsuhisa MARUYAMA (Ritsumeikan Univ.)

890 4. Basic Idea of Discussion Reference System for Embedded Software

Masayuki HIRAYAMA (Nihon Univ.) and Yukikazu NAKAMOTO (Univ. of Hyogo)

894 5. Context-aware Applications

Naoyasu UBAYASHI (Kyushu Univ.)

898 6. Common Problems in Software Development Education

Katsuhiko GONDOW (Tokyo Institute of Technology)

Special Features

Dennou-sen, World Computer Shogi Championship and the Future

904 0. Foreword

Takeshi ITO (Univ. of Electro-Communications)

906 1. I Realize the Difference between Computer and Human with Heart

Noboru KOSAKU (Osaka Univ. of Commerce)

914 2. Distributed Game Tree Search and Improvements - Match between Hiroyuki Miura and GPSShogi -

Tomoyuki KANEKO and Tetsuro TANAKA (The Univ. of Tokyo)

923 3. The Impression of the Shogi-Dennousen

Tadao KITAJIMA (Professional Shogi Player / Japan Shogi Association)

925 4. The 23rd World Computer Shogi Championship

Takenobu TAKIZAWA (Waseda Univ.)

929 5. An Account of the 23rd World Computer Shogi Championship

Kunihito HOKI (The Univ. of Electro-Communications)

933 5. Next Step of Computer Shogi

Hitoshi MATSUBARA (Future Univ. Hakodate)

Airticles

938 Privacy-preserving Data Publishing

Kazuhiro MINAMI (Institute of Statistical Mathematics)

Senior Column : Messages on Favorite IT

903 For A New Computer Museum

Makoto KIKKAWA (Institute for Educational Information)

"Peta-gogy" for Future

947 The Role of Business Producers on IT Human Development

Shinji UENO (Fujitsu Univ.)

948 An Adventure of the TENTO Programming School

Shinichi KUSANO (TENTO)

952 Entrance Examination with Infomatics - The Objective and the Activity as a Working Group of Our Society -

Mitsugu SUZUKI (Shimane Univ.)

937 Book Review

956 Topics

966 IPSJ Activity Report

992 Topics

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員） (https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.54 No.8 (Aug. 2013)

【一般論文】

- 分布間ダイバージェンスと議席配分方式の関係について
一森哲男
- 限定継続機構と future を持つ計算体系の透過的意味論
田中麻峰 他
- 高信頼細粒度部品再利用による形式手法におけるソフトウェア合成
中村文洋 他
- GNU Radio を用いた無線アドホックネットワークにおけるデータ配信手法評価のための省スペース実験環境の構築*
金原辰典 他
- アドホックネットワークにおける Top-k 検索のためのルーティング手法*
天方大地 他
- デッドレコニングと Bluetooth の受信電波強度を用いたスマートフォンユーザー間の位置関係認識*
樋口雄大 他
- 連送数制御による隊列走行用タイムスロット予約方式
鈴木理基 他
- 大規模データセンタ向け運用管理ソフトウェアにおける情報取得方式の決定手法*
森 宣仁 他
- テイント伝搬に基づく解析対象コードの追跡方法*
川古谷裕平 他
- Android における細粒度アクセス制御機構*
川端秀明 他
- 整数計画法を用いた高速な Slitherlink パズルの解法
石濱友裕 他
- 交替潜時と韻律情報に基づく会話同調制御方式と情報収集を目的とした会話エージェントへの実装
速水達也 他
- Calculation of Velocity on an Implicit Surface by Curvature Invariance
Makoto Fujisawa 他
- 粒子法の近傍粒子探索における接続リスト法への八分木の利用
笠 晃一
- Android スマートフォンユーザー向けワンクリック詐欺疑似体験教材の開発†
新谷洋介 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Aug. 2013)

【Transactions on System LSI Design Methodology Vol.6】

- VLSI Architecture Design for H.264/AVC Intra-Frame Video Encoding
Huang-Chih Kuo 他
- A New Variation of Adaptive Simulated Annealing for 2D/3D Packing Optimization
Yiqiang Sheng 他
- Energy-efficient High-level Synthesis for HDR Architectures with Clock Gating Based on Concurrency-oriented Scheduling
Hiroyuki Akasaka 他
- Design and implementation of IP-based iSCSI Offload Engine on an FPGA
Amila Akagic 他
- Quantitative evaluation of resource sharing in high-level synthesis using realistic benchmarks
Yuko Hara-Azumi 他
- Efficient Fault Simulation Algorithms for Analyzing Soft Error Propagation in Sequential Circuits
Taiga Takata 他
- A New Formal Verification Approach for Hardware-Dependent Embedded System Software
Bernard Schmidt 他
- Detection of Activities and Events without Explicit Categorization
Masao Yamanaka 他
- a 波構成要素の切出しと解析
石川由羽 他
- 3次元形状位置合わせにおける進化計算アルゴリズムの比較検討と全周復元への応用
澤井陽輔 他
- 大画像の複層ベイズ超解像と位置ずれ推定に関する検討
木下俊貴 他
- 視覚障害者のための墨字学習支援システムの開発と評価
松本多恵 他
- リンクの向きに着目した機能コミュニティとモチーフの関係分析
伏見卓恭 他
- 二種類の個体からなる不均質 Boids のパターン形成
中村真理
- ソーシャルメディアにおける情報共鳴のエージェントベースシミュレーション
石川 孝
- ネットワーク分析による Twitter ユーザのフォロー形成に関する一考察
小出明弘 他
- 実世界サプライチェーンの構造的頑健性：複雑ネットワーク・アプローチ
鬼頭朋見

【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.6 No.2】

- 日本株式会社ポートフォリオのリスク管理における拡散成分とジャンプ成分の影響
竹俣 潤 他
- 進化計算における OneMax 問題の Markov 連鎖を用いた収束時間解析
古賀仁信 他
- On Implementation and Evaluation of Inverse Iteration Algorithm with Compact WY Orthogonalization
Hiroyuki Ishigami 他
- 3つのネットワーク結合離散系カオス変動モデルにおける edge snapping による同期化とその応用
時永祥三
- 遺伝的プログラミングを用いた近代書籍からのルビ除去
粟津妙華 他
- 為替オプション市場における行動ファイナンス
野村哲史 他
- Salient Object Detection Based on Direct Density-Ratio Estimation
Masao Yamanaka 他

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.5】

- 6-DOF Camera Pose Estimation Using Reference Points on an Aerial Image without Altitude Information
Taiki Sekii 他
- High-Resolution Surface Reconstruction based on Multi-level Implicit Surface from Multiple Range Images
Shohei Noguchi 他
- Large-Scale Image Retrieval as a Classification Problem
Yusuke Uchida 他

【論文誌 デジタルコンテンツ Vol.1 No.1】

- スケッチブックでのお絵描きを三次元 CG で拡張する映像ツールの提案とその実現方法
近藤菜々子 他
- タブレット端末を用いた電気を学ぶデジタル教材の開発とその

実践的活用

- サッカーの戦略会議を支援する複数視点を用いた協調作業空間 遠藤 守 他
- 字幕放送を利用したテレビ放送への香り付加 樽川香澄 他
- デジタルコンテンツ配信における再生中断制御に関する考察と評価 多々良樹 他
- 義久智樹

【論文誌 プログラミング Vol.6 No.2】

- 多重 Ambient Calculus と UHF 帯 RFID 機器を用いた海上物流監視システム 橋本隆弘 他
- L-Closure の呼び出しコストの削減 田附正充 他

■ Effective Demand-driven Partial Redundancy Elimination

Yasunobu Sumikawa 他

- 実行速度を考慮した実装法による細粒度でのコード再利用のためのメソッド内メソッド 平松俊樹 他
- Multilingualization Based on RPC for Job-Level Parallel Script Language, Xcrypt Masaru Ueno 他
- フォルダ・プログラミング環境におけるエンドユーザーインタフェースに関する一考察 赤間浩樹 他
- 解析表現文法と Scheme マクロ展開器を用いた JavaScript 向け Hygienic 構文マクロシステムの実装 浦水佳奈子 他

論文なんて関係ないと思っている方も デジタルプラクティスに論文を書いてみませんか？

「デジタルプラクティス」は、本学会が発行している JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションに次ぐ第 4 の論文誌です。現在、皆様からの論文募集中ですので、以下の案内をご覧ください。

▶ http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/shippitsu_annai.html

JIP, 論文誌ジャーナル, トランザクションは従来の学術的な成果をターゲットにしていますが、**デジタルプラクティスは現場の知恵, 創意工夫, 教訓など実践的な知見をターゲット**にしています。現場にいる他の IT 技術者にとって役に立つ実践的な知見なら自分も持っていると思われた方は少なくないと思います。そんな方にこそデジタルプラクティスの論文を書いていただきたいと思っています。

論文の形にまとめることは、まず、世の中の多くの人々に皆様の知見が行き渡ること、使ってもらえる機会が増えることを意味します。次に技術者としての長期的なキャリアを考えたとき、論文はこれまで自分がやってきた仕事や成果を永続的な形で残す最も有効な方法の 1 つになります。つまり、論文は時間と空間を越えて知見をスケールさせるツールなのです。

これからの時代、IT 技術者は組織に閉じこもるのではなく、一人一人が世の中から頼られるような存在にならなければならないと思います。それが IT 技術者がより充実して活躍できる世の中であり、デジタルプラクティスはそのような世の中の訪れを後押ししたいと思います。

実際にデジタルプラクティスへ投稿されるときは、どうぞもっとリラックスしてください。論文を書き馴れていない著者の方々のために、2 ページ以内の概要原稿を受け付けるようにしました。以下のような投稿準備フォームも用意しました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/outline-guideline.html>

そして、各論文ごとに個別に編集担当者を割り当てて、共同推敲という著者と編集担当者が協調して論文を改訂するプロセスを取り入れました。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/shinsa-tebiki.html>

詳しくはデジタルプラクティスの Web ページをご覧ください。▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/dp-index.html>



ご意見をお寄せください！

【9月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- [1] ご氏名
- [2] ご所属 Tel. () -
- [3] E-mail:
- [4] 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- [5] 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- [6] 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- [7] 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- [8] あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- [9] あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- [10] 今月号（2013年9月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：情報処理技術が切り拓く未来 10-1- []
- 特集：ソフトウェア工学の共通問題
1. ソフトウェア工学の共通問題とは 10-2- []
2. 共通問題の現状 10-3- []
3. 酒屋問題再考 10-4- []
4. 組込みソフトウェア分野の共通問題の考え方 10-5- []
5. コンテキストウェアアプリケーション 10-6- []
6. ソフトウェア開発教育における共通問題 10-7- []
- IT好き放題：新しいコンピュータ博物館建設をのぞむ 10-8- []
- ミニ特集：現役プロ棋士に勝ち越したコンピュータ将棋
1. コンピュータと心を持つ人間の違いを実感 10-9- []
2. 多数の計算機を活用したゲーム木探索技術の進歩 10-10- []
3. プロ棋士から見た第2回電王戦 10-11- []
4. 第23回世界コンピュータ将棋選手権速報 10-12- []
5. 第23回世界コンピュータ将棋選手権自戦記 10-13- []
6. コンピュータ将棋の今後 10-14- []
- 書評：スマートネットワークの未来 10-15- []
- プライバシー保護データパブリッシング 10-16- []
- べた語義：コラム：IT人材育成のプロデューサーシップ 10-17- []
- べた語義：プログラミングスクール TENDO の冒険 10-18- []
- べた語義：情報入試 10-19- []
- トピックス：研究会推薦博士論文速報 10-20- []
- 学会活動報告：情報技術の国際標準化と日本の対応 10-21- []
- トピックス：情報処理 2012 年 5 月号別冊「《特集》CGM の現在と未来：初音ミク、ニコニコ動画、
ピアプロの切り拓いた世界」前代未聞の星雲賞受賞 10-22- []
- [11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 11-1- []
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- 〔12-3〕 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）..... 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 ソフトウェア工学の共通問題：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
- 〔13-2〕 現役プロ棋士に勝ち越したコンピュータ将棋：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，国際会議，IFIP委員会
■ 事業部門			
事 業	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続 세미나，プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IP SJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

「ソフトウェア工学の共通問題って何ですか?」「いったい何人の人が研究しているんですか?」これが、この企画を提出したときの編集委員会の最初の反応でした。1984年の本誌特集で取り上げられたソフトウェア工学の共通問題は、ソフトウェア設計技法の比較のために使われる酒屋の在庫管理問題です。ソフトウェア工学コミュニティにいる人にはかなり有名ですが、他のコミュニティの人にいったいこれはなんだ、と思われるのは当然のことです。

数学や建築工学などソフトウェア工学分野以外でも、さまざまな共通問題(呼び名は分野によっていろいろあるようですが)が実は存在します。当然ながら分野が違えばその内容も使われ方も違います。ですから共通問題を見ると、その分野でどのようなテーマが関心をもたれ議論されていて、それらがどのように研究・評価されているのかということを知ることができ

ます。しかし、本誌に共通問題が掲載されて約30年、ソフトウェア工学を取り巻く環境も変わっています。この問題に取り上げられた「酒屋」そのものも、次第に少なくなってきました。

ソフトウェア工学の扱うテーマも、ソフトウェアそのものも、この30年間で変化したり拡大したりしています。共通問題を再度見直してみようという議論も、そうした背景から出てきました。

本特集はソフトウェア工学研究会の開催するウィンター・ワークショップでの議論に基づいています。ワークショップはテーマに応じて複数のセッションが開催されるのですが、本セッションは比較的ベテラン?の研究者が集まり、ある意味じっくりと(あるいはのんびりと)議論を重ねてきました。そこでの議論に基づいた本特集は最新技術の紹介といったトレンド的な話題ではありませんが、現在ソフトウェア工学のコミュニティでどのようなテーマが議論されているのかを知っていたくきっかけになればと考えています。

末尾になりますが編集委員の皆様、および学会事務局の皆様には、このような特集の機会を与えていただき、また編集の過程ではいろいろとお世話になりました。本当にありがとうございました。

(岸 知二、野田夏子/本特集ゲストエディタ)

電王戦ではコンピュータがプロ棋士に勝ち越した。この事実を、実に多くの人がいちいち反応を持って受け止めていた。私も個人的に、将棋友だちなどからコンピュータ将棋の強さへの「驚嘆」や「畏怖」などさまざまな声を聞いた。関係者であるプロ棋士やコンピュータ将棋関係者からも、さまざまな反応をいただいた。このミニ特集では、各分野の方に電王戦について書いていただいたので、それぞれの立場でこの対戦をどう評価しているのかをうかがい知ることができる。

コンピュータ将棋は、人間のトッププレイヤーに勝つことを1つの目標に探索技術や学習技術を磨き、アルゴリズムを洗練させてきた。それは、人間のプレイヤーの強さの尺度を物差しとして、棋力を測ってきたからにはほかならない。瀧澤さんと保木さんの原稿から、今年の世界コンピュータ将棋選手権でも、変わらず技術革新が行われており、年々レベルが上がり続けていることが示されている。人間のトップに勝った後、物差しの及

ばない世界に突入するが、開発者たちのモチベーションに変化は生じないだろうか?

将棋のような思考ゲームの研究のゆく先には、必勝法の解明(先手必勝か後手必勝か引き分けかを調べ尽くすこと)があり、それを目指すというのも1つの可能性かもしれない。チェッカーでは、2007年にカナダ・アルバータ大学の研究チームが最善を尽くせば「引き分けになるゲーム」であることを完全解明したが、チェスはおろか探索空間がかなり狭いオセロですら、まだ解明されておらず、将棋の完全解明は遠すぎる目標のように感じられる。松原さんの原稿にもあるように、コンピュータ将棋の研究の方向性は「強さ」から別のベクトルに向けられていくことになるのかもしれないが、そのベクトルを模索する時代に入ってきているのかもしれない。

(伊藤毅志/本ミニ特集エディタ)

次号(10月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ユーザスタディのフロンティア

社会課題からのイノベーション・プロセス: 認知症プロジェクト/超高齢化社会とは誰にとっての社会なのか? ~異業種混合プロジェクトによるシニアスタディの取り組み~/今どきの若者のメディア行動/“こども × くすり × デザイン”のアプローチ/行動観察のサービスサイエンスへの応用—飲食業における実践的サービス・スタンダードの構築—/医療現場における人とシステムの協調/What は後で出す“リコー BOP project”/住民の視点からの復興後の生活

解説: 安定マッチング問題.....宮崎修一

報告: 未踏の第19期スーパークリエータたち.....竹内郁雄

教育コーナー: ペタ語義

連載: 古機巡礼/二進伝心 コラム: 巻頭コラム/シニアコラム: IT好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」54巻9号 掲載広告(五十音順)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> インタフェース …………… 表2 | <input type="checkbox"/> とめ研究所 …………… 前付最終上 |
| <input type="checkbox"/> オーム社 …………… 表2対向 | <input type="checkbox"/> 富士通 …………… 表4 |
| <input type="checkbox"/> サイエンス社 …………… 目次前 | <input type="checkbox"/> 三菱電機インフォメーションシステムズ …… 表3 |
| <input type="checkbox"/> 情報処理推進機構 …………… 同封 | |

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20～50口)

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)

Google™

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft®

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

NTT DATA

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI SONY

三美印刷 (株)

ソニー (株)

Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)